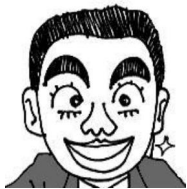


第7号



日本共産党区議会議員

Japanese Communist Party

安藤たい作 ニュース

再開第3回定例議会が全日程終了し閉会

「ド元過ぎれば何とやら・・・」 濱野新区長、早くも公約に背を向ける勢い??

日本共産党・安藤たい作、決算特別 委員会で二たび質問

去る一〇月二十七日、〇五年度の決算を中心に審議して
おりました第三回定例議会が閉幕しました。議会では冒頭
に「本会議」があり、そこで「議題」が各「委員会」に付
託され、審議の場は各委員会に移ります。そこで審議され
た議題がふたたび本会議に戻ってきて「採決」。委員会が
本会議でサンドイッチされている、とても申しましようか。
おおざっぱに言うとうそいう流れで行われます。

加えて今回は年に一度の「決算議会」に当たります。私
安藤たい作も初登壇から丁度一週間のうちに決算特別委員
会にて質問を行うことに。①若者雇用問題②駐輪場整備③
小中学校の学力テスト公開問題、の順で計三回質問を行
いました。いわゆる「二問一答形式」で理事者(区側担当者)
に対して質問を行います。始めての質問では緊張のあまり
質問後にワイヤレスマイクを切るのを忘れる等しましたが、
「区民要求を届ける」という立場で精一杯頑張りました。

今議会は区長が交代する中で行われ、新区長がどのよう
な政治姿勢をとるのかが問われた議会でした。濱野新区長
は職員向けの挨拶(庁舎内に一齐に放送)の中で「区民の
声をよく聞きたい」と表明。厳しい選挙戦を反映した姿勢
を示したものの、議会が進むにつれ、明らかにそれがト
ンダウンしていくのが分かりました。特に、八潮団地で入
学者がゼロになり5つの小中学校が一枚に統廃合されるな
ど、今回の選挙でも大きな争点となった教育問題。この問
題で新区長は「新しいことをやる時には批判はつきもの。
それにひるんでは改革はできない。見直しはない」と、日
本共産党が求める「プラン21(品川の掲げる教育改革プ
ログラム)の検証と見直し」をはっきりと否定してのけま
した。いま地域では学校選択制、その先の統廃合への不安
の声が広がっています。安藤たい作並びに日本共産党区議
団は、区民の皆さんの声と運動と力を合わせて、「ワンマ
ン」だった前高橋区政の再現阻止に向けて全力をあげます。

